

松阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和元年度評価結果

松阪市企画振興部経営企画課

松阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価結果一覧表

《 数値目標 》

指 標	現状値	H27	H28	H29	H30	実績値 R 1	目標値 (H31)	評価	内部評価
人口※1	163,863人 (H27)	—	162,835人	161,703人	160,907人	159,774	現状維持	E	5年間の総合戦略による取組によっても、人口減少に歯止めがかかっていない状況にある。人口減少の減少割合を少しでも緩和させるため、総合戦略を見直し、引き続き人口減少に対応する取組を進める必要がある。
合計特殊出生率	1.53人 (H25)	1.55人	1.52人	1.45人	1.50人	—	1.63人	E	合計特殊出生率はH25より下がっており、直近の2年は三重県の出生率より低くなっている。今後も更なる子育て環境の充実に取り組む必要がある。
現在の生活への満足度※2	68.4% (H24)	70.5%	—	72.4%	—	75.0%	70.0%	A	目標値を達成しており、調査のたびに満足度も上昇している。今後も引き続き満足度の上昇に向けた取組を進めていく。

※1 平成27年国勢調査より。各年度の基準日は10月1日。住民基本台帳による人口動態（自然増減、社会増減）により各年度の人口を推計。

※2 市民意識調査より

評価基準・・・A（90％以上）、B（70～89％）、C(50～69％)、D（30～49％）、E(29％以下）、－（評価不能※実績未測定を含む）

《 参考資料 》 住民基本台帳による松阪市の総人口（基準日：10月1日）

	H26	H27	H28	H29	H30	R 1
松阪市の総人口（住民基本台帳）	168,864人	167,733人	166,705人	165,573人	164,777人	163,644人
前年との比較		△ 1,131	△ 1,028	△ 1,132	△ 796	△ 1,133

松阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価結果一覧表

プロジェクト名	まいほーむ松阪プロジェクト（定住促進）								
基本目標	住みたい・住み続けたいまちをつくります								
指 標	現状値	H27	H28	H29	H30	実績値 R 1	目標値 (H31)	評価	内部評価
総合的にみて松阪市は住みよいまちと感じる人の割合	73.3% (H24)	77.1%	—	75.2%	—	76.7%	75.0%	A	調査のたびに目標値を上回る結果となったが、引き続き定住促進の取組を進めていく。

施策名	番号	指 標	現状値	H27	H28	H29	H30	実績値 R1	目標値 (H31)	評価	内部評価
転入の促進	1	空き家バンクを利用した転入者数	5人 (H26)	24人	39人	48人	80人	100人	30人	A	目標値を大幅に増加しており、今後も移住促進に取り組んでいく。
	2	空き家バンク物件登録軒数	12軒 (H26)	25軒	38軒	48軒	69軒	88軒	50軒	A	目標値を上回っているが、引き続き空家の登録を促していく。
	3	空き家利用登録件数	21件 (H26)	83件	118件	153件	216件	285件	100件	A	目標値を大幅に増加しており、今後も空家バンクの推進に取り組んでいく。
	4	転入者数	4,232人 (H25)	5,014人	4,950人	4,757人	4,888人	5,009人	4,290人	A	目標値が低かったため目標値は上回ったが、転入者数は横ばい傾向にあるため、引き続き転入促進の取組を進めていく。
	これまでの主な取組 ○空き家バンク制度を推進し、空き家の有効活用に取り組みました。(H27～) ○田舎の良さを再発見してもらうためにプロモーションビデオやパンフレットを製作し、市外・県外でのPRに取り組みました。(H27～) ○空家バンク移住・定住を促進するため、休日相談窓口を開設し空家バンクの推進に取り組みました。(R1～) ○地域おこし協力隊を立ち上げて、若者、子育て世代を中心に、中山間地域の暮らしや魅力の発信、移住・定住を促進する活動に取り組みました。(R1～)										
転出の抑制	5	転出者数	4,383人 (H25)	5,605人	5,499人	5,291人	5,116人	5,411人	4,330人	E	目標値は達成できていないが、転出者数は横ばい傾向にあるため、雇用創出と連携した定住促進の取組を進める必要がある。
	これまでの主な取組 ○空き家バンクを通じた移住者に対し、生活に関する相談を受けるなどし、定住促進に取り組みました。(H27～) ○定住自立圏域において、近隣3町（多気町、明和町、大台町）と相互に連携し、人口定住に必要な都市機能および生活機能の確保に取り組みました。(H27～) また、移住促進、地域公共交通網の連携等を新たな取組とし、圏域で取り組む第二次松阪地域定住自立圏共生ビジョンを策定しました。(R1)										

松阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価結果一覧表

魅力松阪市の発信	6	松阪市ホームページの月平均アクセス数	81,700件/月 (H26)	78,472件/月	69,400件/月	51,342件/月	159,772件/月	181,892件/月	100,000件/月	A	目標値を上回る結果となった。引き続き松阪市の魅力発信に取り組んでいく。
	これまでの主な取組 ○松阪市の魅力を市内外に広く知ってもらうために、市ホームページをリニューアルしました。(H28) ○平成29年2月にホームページをリニューアルし、「移住定住」の特設サイト（サブサイト）を作成しました。(H28) ○三重県のプロモーションサイト「つづきは三重で」の市町サイトのイチオン情報において、空家バンクのリンクと移住プロモーションビデオを紹介しました。(H28～) ○台風時などの災害時は災害用画面に切り替え、アクセス集中の軽減を行った。(H29～) ○2020年（令和2年）開催予定であったみえ松阪マラソン特設サイトを作成し、PRを行った。(R1～)										

松阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価結果一覧表

プロジェクト名	つぎの世代へプロジェクト（少子化対策）									
基本目標	結婚・出産の希望がかない、次世代を担う子どもを健やかに育てるまちをつくります									
指 標	現状値	H27	H28	H29	H30	実績値 R1	目標値 (H31)	評価	内部評価	
子どもたちがのびのび育つ環境への満足度	2.89/5 (H24)	2.91/5	—	2.94/5	—	3.01/5	3.10/5	C	目標値は達成できなかったが、満足度は徐々にではあるが上昇してきているので、引き続き目標値に向け子育てしやすい環境づくりに取り組んでいく。	
子どもたちが安心して教育を受けられる環境への満足度	2.93/5 (H24)	2.93/5	—	2.95/5	—	3.08/5	3.10/5	B	目標値に近づいてきているので、引き続き目標値に向け学校教育の充実に取り組んでいく。	

施策名	番号	指 標	現状値	H27	H28	H29	H30	実績値 R1	目標値 (H31)	評価	内部評価
結 婚	1	20～49歳の未婚率	33.5% (H27)	—	—	—	—	32.2%	30.0%	D	目標値は達成できなかったが、若干ながらも未婚率は減少した。結婚は個人の考え方や価値観が尊重されるべきものであるため、市としては結婚・出産や子育ての希望をかなえることができる環境づくりに取り組んでいく。
	これまでの主な取組 ○飯南管内にて出会い創出事業を通じて、未婚者の結婚意識の高揚を図り、少子化及び定住化対策を目的としてイベントを開催することにより、独身男女に出会いの場を提供しました。 H27：26名参加（カップリング4組） H28：37名参加（カップリング4組） H29：54名参加（カップリング7組） H30：56名参加（カップリングまで追わず） H31（R1）：コロナのため開催せず										
出 産	2	持つ予定の子どもの数	1.9人 (H27)	—	—	—	—	—	2.3人	—	市民意識調査の設問を変更したことにより評価不能。理想と考える子どもの数はR1調査で2.1人であり、今後はこの人数を増やしていきたい。
	3	4か月健診問診票「母の気持ちの安定度」	86.2% (H26)	86.4%	93.2%	91.9%	90.5%	92.0%	90.0%	A	妊産婦健康診査、乳児家庭全戸訪問や乳幼児健康診査において、現状の高い実施率、受診率を保つように努めたことで、目標値90%以上を継続できた。引き続き家庭の状況把握、母親の心身の安定を図ります。

[illegible]

施策名	番号	指 標	現状値	H27	H28	H29	H30	実績値 R 1	目標値 (H31)	評価	内部評価
子どもの教育	5	学級満足度尺度調査による満足度	63.0% (H26)	67.0%	72.6%	66.2%	66.6%	59.3%	65.0%	A	学級満足度尺度調査において、1回目の調査を踏まえて個や学級集団の実態に応じた指導や支援を行うことで、自分の学級に満足している児童生徒の割合が、全国平均を上回った。 平成27～30年度は、目標値を上回ることができたが、令和元年度は基準値が変更となったため、目標値を超えることはできなかった。今後は、目標値を再設定しながら、取組を進めていく。
	6	ICT支援員による支援回数	166回 (H26)	376回	479回	613回	851回	904回	200回	A	ICT支援員の増員により目標値を大きく上回った。今後は、1人1台環境の整備に向けて、教職員の授業実践や校務におけるICT利活用をさらに促進するべく、現状の運用体制の見直しを図りながら、支援体制を一層充実させていく。
子どもの教育	7	1日30分以上読書（授業以外）をしている割合	小：35.8% 中：27.0% (H27)	—	小：34.6% 中：28.3%	小：32.9% 中：24.7%	小：39.6% 中：26.3%	小：37.2% 中：23.3%	小：38.0% 中：31.0%	B	小学校ではH30年度に目標値を上回ったものの、中学校では伸びが見られなかった。 要因として、スマートフォン等を使用している時間が依然として長くなっていることが考えられる。しかしながら、家庭学習の時間が伸びるという成果も出ており、今後も家庭学習の習慣と重ねて読書習慣の確立に取り組む。
	これまでの主な取組 ○学級満足度尺度調査やいじめアンケート調査を実施し、実態に応じた指導や支援を行いました。（継続） ○ICT機器を活用し、児童生徒の情報活用能力の育成に取り組みました。（継続） ○ICT機器整備校の拡大に合わせてICT支援員を増員し、訪問校の見直し（追加）を行いました。 ○モデル校での1人1台環境における授業実践のほか、遠隔システムを用いた授業など、先端技術の活用等に取り組みました。 ○学校読書室へ図書館司書を配置し、環境整備や読書ボランティアの育成を行いました。（継続） ○学校読書室の書籍をバーコード化し、松阪市図書館と連携のできるシステムを導入いたしました。（H28）										

松阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価結果一覧表

プロジェクト名	さかえるまちプロジェクト（雇用創出）									
基本目標	地域産業の活性化により雇用を生み、みんながいきいきと働けるまちをつくります									
指 標	現状値	H27	H28	H29	H30	実績値 R 1	目標値 (H31)	評価	内部評価	
いきがいをもって働ける魅力のある環境への満足度	2.57/5 (H24)	2.67/5	—	2.72/5	—	2.79/5	3.50/5	E	高い目標値を設定しており達成できなかったが、徐々に満足度が上昇してきていることから、引き続き目標値に向け働く場の充実に取り組んでいく。	

施策名	番号	指 標	現状値	H27	H28	H29	H30	実績値 R 1	目標値 (H31)	評価	内部評価
地域産業の振興	1	魅力的な商店街づくりや中小企業の支援等 地域の産業を育てる取組への満足度	2.57/5 (H24)	2.65/5	—	2.70/5	—	2.89/5	3.00/5	B	調査ごとに増加傾向にあるが、目標達成に向けてさらなる取り組みを行う必要がある。
	2	認定農業経営体数	163経営体 (H27)	—	176経営体	179経営体	187経営体	179経営体	195経営体	A	認定更新の辞退により前年度より減少した。引き続き目標値に近づけるように取り組んでいく。
	3	市内事業所従業者数	13,689人 (H25)	13,129人 (H26)	13,406人 (H27)	—	12,905人 (H29)	13,207人 (H30)	14,000人	A	13,000人前後で進捗しており目標値とは乖離している。目標自体の見直しの検討も必要である。
	4	製造品出荷額等	36,868,023万円 (H25)	37,646,771万円 (H26)	40,388,358万円 (H27)	—	36,924,774万円 (H29)	40,169,654万円 (H30)	37,679,120万円	A	目標値を達成した。今後も産業のさらなる活性化をめざす。
	5	観光客入込客数	2,657,030人 (H26)	2,723,971人	—	2,610,024人	2,660,000人	2,752,285人	3,000,000人	A	観光入込客数はほぼ横這い傾向にあり、引き続き関係団体等と連携して主要観光施設への誘客を中心に事業展開を図る必要がある。また、人口減少社会を見据えた観光消費額増大に向けた取組が必要である。
	6	外国人宿泊者数	4,730人 (H26)	11,941人	—	—	—	—	23,650人	—	全国的に外国人観光客は増加傾向にありインバウンド市場は拡大を続けていた。新型コロナウイルス感染症により深刻な状況にあるが、収束後を見据えたプロモーションを行っていく必要がある。

施策名	番号	指 標	現状値	H27	H28	H29	H30	実績値 R 1	目標値 (H31)	評価	内部評価
地域 産業 の 振 興	これまでの主な取組										
	○本市とゆかりの深い東京日本橋において、本居宣長や松阪商人を育んだ松阪の風土や魅力を発信する松阪経営文化セミナーを開催し、つながりを深め、観光客誘致につなげました。（H25～）										
	○行政だけでなく、民間ノウハウ等を活用した情報発信や観光客の受け入れ態勢の強化を図る取り組み（豪商のまち松阪キャンペーン）を、市観光協会、及び各関係機関と連携し実施しました。（H28～）										
	○事業所の抱える課題を解決に導くよう、平成29年度に「松阪市産業支援センター」を開設し、相談窓口の設置、各種セミナーの開催、専門家派遣事業等を実施。										
	○観光戦略の広域化を目的に1市3町と観光協会、商工会議所、商工会の14団体が構成する「松阪・多気・明和・大台圏域観光連携事業推進協議会」を平成28年5月2日設立。スケールメリットを活かした事業の基幹として圏域観光情報誌「るるぶ松阪多気明和大台」を制作し、JTB関連施設や高速道路SAへの配備、また各種イベント会場で配布するなどの観光連携PR事業を実施した。（H28～）										
	○国の補助事業などを活用し、新規就農者等の経営規模の拡大等を目指す農家への経営改善等に支援を行い、認定農業者の確保に努めました。										
	○地域材の利用拡大に向け、生産基盤である路網整備に取り組みました。（継続）										
○松阪以南の16市町で構成する南三重地域就労対策協議会を実施主体として、若者のUターン就職による地元就職及び定着などの一体的な就労対策を実施しました。（R1～）											
○松阪の重厚な歴史・文化を活かした「まちなか観光」の推進のため、平成31年4月に開館した「豪商のまち松阪観光交流センター」と、松坂城跡周辺の歴史文化ゾーンに点在する「旧長谷川治郎兵衛家」、「旧小津清左衛門家」、「原田二郎旧宅」を、指定管理者制度により「一般社団法人松阪市観光協会」に委託し、一体的な運営を行ったことで、特色のある企画展やイベントなどを開催することができ、多数の観光客誘致を図りました。(H31～)											
施策名	番号	指 標	現状値	H27	H28	H29	H30	実績値 R 1	目標値 (H31)	評価	内部評価
企 業 誘 致	7	企業立地件数	1社 (H26)	4社 (3社)	9社 (5 社)	12社 (3社)	17社 (5社)	20社 (3社)	20社	A	目標値を達成。今後もさらなる企業誘致活動を展開していく。
	これまでの主な取組 ○三重県をはじめ関係機関と連携しながら、企業立地に関する優遇制度をPRし、企業誘致活動を展開しました。（継続） ○企業動向調査や産業経済人交流会を実施し、企業情報の収集に努めました。（継続） ○国内外からの企業の誘致、立地済み企業が事業継続できるための戦略、継続的な取り組み方向や立地環境整備の基本方針を示した「松阪市企業立地戦略」を策定しました。（H31.3策定）										
仕 事 の 創 出	8	空き店舗等活用による新規出店	2件 (H26)	13件 (11件)	16件 (3件)	21件 (5件)	23件 (2件)	33件 (10件)	40件	B	創業者による新規出店の支援を継続して行っていく。
	9	創業に向けて相談を行っている者	37人 (H26)	28人	—	33人	31人	38人	110人	D	近年は微増となっているが、目標値とは乖離しており目標自体の見直しが必要である。
	10	市内創業者数	12人 (H26)	22人	—	28人	15人	26人	22人	A	今後もさらに増やしていくよう取組を行っていく。
	これまでの主な取組 ○商店街における空き店舗情報及び交通量データの提供。 ○豪商のまち店舗改装支援事業において、より利用を促進させるため、補助対象地域、補助対象工事等の見直しを行った。（H29～） ○創業セミナーに加え、平成28年度より子育て世代を対象としたビジネスセミナーを開催。										

施策名	番号	指 標	現状値	H27	H28	H29	H30	実績値 R 1	目標値 (H31)	評価	内部評価
ワーク・ライフ・バランスの推進	11	余暇の充実度	59.0% (H24)	55.5%	—	58.6%	—	64.6%	65.0%	A	目標値に近づいてきているが、引き続き啓発に努める。
	これまでの主な取組 ○事業所等におけるワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の啓発と普及を目的として、事業所訪問・アンケートを実施し、意識啓発を積極的に行いました。（H22 ～）										

松阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価結果一覧表

プロジェクト名	かちある地域プロジェクト（地域づくり）								
基本目標	地域の絆を深め、安全で安心な住みよいまちをつくります								
指 標	現状値	H27	H28	H29	H30	実績値 R 1	目標値 (H31)	評価	内部評価
総合的にみて松阪市は住みよいまちと感じる人の割合	73.3% (H24)	77.1%	—	75.2%	—	76.7%	75.0%	A	調査のたびに目標値を上回る結果となったが、引き続き定住促進の取組を進めていく。
住民協議会のまちづくり活動に参加している人の割合	20.9% (H24)	23.7%	—	25.4%	23.6%	21.7%	40.0%	E	参加率の減少傾向がみられるため、一本化にむけ、まちづくり活動が、活発になるよう取り組んでいく必要がある
市民と行政との協働を推進するまちづくりの満足度	2.87/5 (H24)	2.85/5	—	2.89/5	—	2.95/5	3.00/5	C	目標値は達成できなかったが、徐々に満足度は上昇してきているので、引き続き目標値に向け市民参加のまちづくりを進めていく。

施策名	番号	指 標	現状値	H27	H28	H29	H30	実績値 R 1	目標値 (H31)	評価	内部評価
まちづくり	1	景観重点地区の設定	3地区 (H26)	3地区	3地区	3地区	3地区	3地区	4地区	E	目標年度に達成できなかったが、地区指定に向けた活動は継続、進展しているため、引き続き支援していく。
	2	地域路線バスの充実とバス路線のない地域の移動手段の確保に関する満足度	2.37/5 (H24)	2.35/5	—	2.25/5	—	2.39/5	3.10/5	E	多様化する市民ニーズに対応する公共交通のあり方を検討する必要がある。
	これまでの主な取組 ○松阪市景観計画及び景観条例を運用し、良好な景観形成に取り組みました。(H21～) ○歴史的まちなみ景観の保全継承のため重点地区指定に向けた中万地区の活動に対する支援を行いました。(H25～) ○市内小中学生へ向けて景観絵画コンクールを実施し、市民のまちへの愛着を育む取り組みを行いました。(H23～) ○重点地区における修景整備に対して、松阪市歴史的まちなみ修景整備事業補助金を交付し、歴史的まちなみの保全に対する活動に支援を行いました。(H25～) ○既存路線沿線地域では、地域運行協議会などでニーズを把握し、より良い運行形態について検討し、実現に向けて協議を行いました。(継続) ○バス路線のない地域では、住民協議会を中心とした検討会を行い、コミュニティ交通について検討を進めました。(継続) ○市街地における公共交通空白地の解消のため、鈴の音バス幸中央線の運行を開始しました。(H29～) ○路線バスとコミュニティバスの運賃格差の是正等を目的に鈴の音バスの運賃を100円から200円に改定しました。(H29～)										

施策名	番号	指 標	現状値	H27	H28	H29	H30	実績値 R 1	目標値 (H31)	評価	内部評価
安 全 ・ 安 心	3	日頃から災害に対する備えをしている人の割合	38.9% (H24)	28.5%	—	34.8%	49.2%	41.4%	50.0%	E	近年多発する大規模災害により市民の災害への意識は高まっているが「自助」への備えが不十分な状況であり、引き続き防災啓発に取り組んでいきます。
	4	交通事故のないまちづくりの満足度	2.47/5 (H24)	2.47/5	—	2.53/5	—	2.55/5	3.00/5	E	伸び率が微増となったため、更なる交通安全対策に取り組んでいく。
	5	犯罪をなくし、安全で安心して暮らせるまちづくりの満足度	2.74/5 (H24)	2.91/5	—	2.95/5	—	2.95/5	3.00/5	B	引き続き、安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいく。
	これまでの主な取組 ○平時からの備えや大規模災害に見舞われた際の心得等について周知を行うため、市民向け防災啓発冊子「災害にそなえる」を作成し、市内全戸に配布を行った。 ○木造住宅の耐震化を促進するため耐震性のない老朽化し危険な住宅の除却に対する補助制度を創設しました。(H29～) ○平成30年度策定の「松阪市津波避難計画」より抽出された津波避難困難地域 2 地区に対し、令和元年度より津波避難施設の整備に着手しました。(H30～) ○交通安全教育指導員「とまとーず」による交通安全教室を開催しました。(H18～) ○松阪市交通安全サポート事業所の登録募集を開始し、登録団体と連携した交通安全対策に取り組みました。(H27～) ○「安全・安心フェスタ まつさか」により、交通安全、防犯、防災の啓発活動を実施し、松阪地区生活安全協会、松阪警察署と連携した街頭啓発、出前講座などによる特殊詐欺被害防止をはじめとした防犯啓発活動に取り組みました。(H28～) ○防犯カメラを設置する自治会を対象に設置等費用を支援することで地域の防犯や治安向上を図った。(H30～) ○犯罪被害により日常生活が困難となった犯罪被害者やその家族を支援する制度を創設した。(R1～) ○三重県と連携した「松阪地区浸水対策検討会」において、対策実施計画書を策定し、それに基づき床上浸水被害解消に向けた整備を進めた。(H29～) ○新たに公表された洪水ハザードマップを基に浸水想定区域の地域住民、及び要配慮者施設に対し説明会を行いました (R1～)										
コ ミ ュ ニ テ ィ づ く り	6	地域計画の策定	38地区 (H27)	38地区	41地区	41地区	41地区	41地区	43地区	A	残りの 2 地区に対して、策定の為のサポートを行っていく。
	7	高齢者が住みなれた地域で安心して暮らせるまちづくりの満足度	2.94/5 (H24)	2.94/5	—	2.94/5	—	2.94/5	3.10/5	E	医療や介護の提供体制の充実に力を入れてきた。市民全体に直結しない取組も多く、H27とR1が同結果だった。高齢者福祉の取組の伝え方や見える化の見直しが必要である。
	8	気軽にスポーツやレクリエーション活動に参加できる環境づくりの満足度	2.95/5 (H24)	2.94/5	—	2.97/5	—	3.00/5	3.10/5	D	様々なスポーツ大会・イベント等を開催し、気軽にスポーツに参加できる環境づくりを進めていく。
	9	地域づくり連携グループ「げんきアップ松阪」登録数	—	11団体	31団体	36団体	38団体	40団体	30団体	A	目標値を上回る結果ではあるが、引き続き取組を進めていく。
	これまでの主な取組 ○住民協議会やNPOなどの市民活動団体とのつながりを創出するため、げんきアップ松阪体験まつりや交流会などのイベントを開きました。(H27～) ○高齢者が地域の様々な集いの場に自ら進んで参加し、介護予防や健康増進を図る取組として、お元気応援ポイント事業を実施しました。 ○スポーツ大会における市長杯を増設し、様々なスポーツ大会・イベント等を開催し、市民がスポーツに参加する機会を提供しました。										